

「Barseback 訓練・研究センター：原子力発電所運転後プログラムへの新しいアプローチ」
Mr. Carl G Lindvall (Barseback Kraft AB, スウェーデン)

スウェーデン Barseback 原子力発電所の稼働停止後の計画についての発表である。
Barseback 原子力発電所は 2 基の BWR からなり、1 号機は 1999 年 11 月 30 日、2 号機は 2005 年 5 月 31 日の夫々稼働停止している。廃止措置に備える一方、2028 年まではサイトは利用可能であるので、有効利用を図るべく、Barseback 訓練・研究センターを設立し、新規事業として以下を展開しようとしている。

- ・ 訓練コース（専門家向けコース、放射線防護トレーニングコース、警察向けのテロ対策トレーニングコース、ALARA 上級コースなど）
- ・ 機器のテスト（非破壊検査及び破壊検査）
- ・ 作業実施方法のテスト
- ・ 研究開発
- ・ 機器の貸し出し／売却による再利用

訓練コースは発電所施設を利用して、実際的な環境での、規制要求、IAEA 及び WANO のガイドラインにも適合した実地訓練である。また、破壊検査が実施可能であるのは同センターのみである。同センターは、これらの新規事業を通して、次の世代に向け、ユニークな機会を提供しようとしている。

同センターは国際空港から近く宿泊施設も備えている。営利目的ではなく、雇用確保が第一の目的である。Barseback の施設と経験を原子力業界で是非活用して欲しいとのこと。

